

1年生 探究活動

1年生はいろいろな科学と触れ合うことが大切です。広い分野の講座をたくさん受けて多くのことに興味関心が持てるといいですね。また、2～4名でグループを作り課題研究にも取り組みます。韮崎高校には幅広い分野に対応できるように様々な器具や普通の高校にはないような実験器具、試薬など各種取り揃えています。SSH指定校という立場を生かしてたくさんのごことに取り組みます。

各種講座

アドバンス講座	
南アルプス・ユネスコエコパーク ～科学的価値およびSSH研究への基本情報～	山梨県立大学 輿水達司 教授
光の宇宙と暗黒の宇宙	名古屋大学 杉山直 総長
里山の自然	北杜市オオムラサキセンター
ぶどうの糖度と酸度をはかる	山梨大学生命環境学部山梨大学ワイン科学研究センター 久本雅嗣 准教授
微生物と生態系	山梨大学生命環境部環境学科 田中靖浩 准教授
サイエンスダイアログ	

こうして、一覧にしてみると座って聞く講座が多いように思えますが、実際はフィールドワークもあります。さらに年間通して行うグループ研究です。研究での実験をどれだけ多く行えたかが今後の研究が成功するカギになってくるといっても過言ではありません。右に令和5年度1年生グループ課題研究のテーマを載せました。2年生になってテーマが変わったり、継続した研究でもどんな結果がでてくるのか？ 答えがないのがおもしろいですね。



R05 グループ課題研究

NO	テーマ
1	コアンダ効果の発生条件
2	炎色反応について
3	植物の種まきと成長の関係性
4	オーロラの発生条件
5	災害時に自然から得た水を安全に飲む方法
6	ミミズを使って光合成を増やす
7	標本調査の正確性
8	結晶について
9	耳が聞こえない人向けの発音訓練ゲームアプリ
10	地域社会活性化に必要なこと
11	バイオリギング
12	段ボールで仮設住宅を快適に
13	地震への対応
14	プラスチック廃材の建築現場活用